

# ふるさと わがまち わが地域

いちがおさん

## 依遅ヶ尾山の郷・矢畑

世帯数 16世帯

人口 31人

(平成28年9月末)

前回(27/7)より

世帯数+1世帯 人口+2人

矢畑(やばた)地区(更新4)281017



### ★地区概要

矢畑地区は、昭和30年には37世帯、173人の地域でしたが、平成20年4月1日時点で20世帯、36人で高齢化比率は47%。将来の過疎化を回避し、矢畑地区の発展の足掛かりの一步として、平成20年10月8日に立命館大学との間で共援協定が調印され、平成22年度までの3年間、太陽の恵みを授かる集落内の地域資源(水田、畑、牧場、山林、山菜)の掘り起こしと有効活用に取り組んできました。

### 矢畑集落農事集会所



立命館大学と共援事業の調印後、取組の中心的場所となった矢畑集落農事集会所です。共援事業は終了しましたが、3年間の活動や勉強会から学んだことを生かして、区長を先頭に集落の整備、竹やぶ整備、獣害(イノシシ、シカ、サル)対策等の活動を継続して頑張っています。主産業である農業では、集落内の畜産農家の丹後牛を活用した畜産・循環型農業を目指して取り組んでいます。また、毎年8月最後の土曜日に開催される「矢畑の郷 ふれあい音楽祭」の拠点です。



依遅ヶ尾山

標高540メートル、関西百名山の一つです。かつては噴火した活火山ですが、今は活火山ではないです。山にまつわる伝説がたくさんあります。



山頂にある役行者を祀る石室  
(26/5/18撮影)



いちがお畜産



丹後牛の里「いちがお畜産」の後継者 大江健人さんです。平成24年度は、5年に1度開催される「第10回全国和牛能力共進会」で愛情を注いだ愛牛「わかひら」が府代表として選ばれました。また、矢畑地区の農業を発展させるため、「丹後牛」の復活と畜産を活用した循環型農業活動を行い、矢畑地区の再生の一翼を担っています。一度現地を視察してください。

また、来年(29年)「第11回全国和牛能力共進会」が9月7日(木)から9月11日(月)行われます。



登山口駐車場の看板

とう  
ありが棟  
豊栄いちがお塾制作 登山後でも登山前でもぜひ、お立ち寄りを！！



太古からの  
依遅ヶ尾山への歩み



木々に囲まれている看板



「ここでいっぶく」裏面には あと「800M」の記載が



崩れてそのままの鳥居が・・・  
文化14丁丑(1817年)3月吉日  
願主 矢畑邑 井上〇〇八？



いっぶくから眺めた景色です。

「鳥居あと500M」の記載が

頂上からの眺望です。



白山(標高2,702m)が見えました。



26年5月18日(日)「いちがお山丸ごとチャレンジウォーク」の参加者の  
の方々です。当日は天候に恵まれ、絶好のチャレンジ日和でした。





現在のありが棟です。



クルミの実です。  
クルミの木です。



熊の爪の痕？



依遅ヶ尾山の梨の実です。  
落ちた梨が切り株の上に置いてあります。  
この近くに梨の巨木があります。

平成28年10月16日(日)に行われた「依遅ヶ尾山」登山です。  
毎年、矢畑区の「お祭り」に合わせて丹後町公民館連絡協議会が主催しています。



総勢104名の参加です。



「風船奉天」メッセージ付



景色は最高です。



豊栄公民館長

間人公民館長



登頂後、祠の前の広場で。



山頂目指して頑張ってます。

豊栄公民館長のあいさつのあと、間人公民館館長より、「依遅ヶ尾山」のいわれと、山頂からの景色について説明がありました。

